

# Red Hat Insights で運用効率を向上

## メリット

- ▶ 従来型インスタンスおよびクラウドインスタンス全体で高度な IT パフォーマンスおよびセキュリティ上の要求を充足
- ▶ IT 環境の可視性を高めて運用の信頼性を向上
- ▶ スタッフの効率を最適化し、Linux スキルを拡張
- ▶ チームの能力をイノベーションの実現に注力
- ▶ 信頼性の高い少数の構成を使用することで複雑性を制御

## 概要

IT マネージャーは、IT 環境の管理で多くのプレッシャーにさらされています。特に大きいプレッシャーは高い運用効率の実現ですが、運用効率はセキュリティやパフォーマンス、可用性、安定性といった要素に左右されます。

IT マネージャーは、運用効率を高めるのと同時に、利用可能な IT リソースおよびスキルとそのコストの間でバランスを取らなければなりません。さらに、リアクティブな組織からビジネス上の利点を促進するイノベーションの実現に注力する組織への変革をサポートしなくてはなりません。これらすべてを両立させることは難しいように思えますが、Red Hat® のテクノロジーに基づく適切な基盤と管理ソリューションが、その実現に役立ちます。

Linux® は、既存のアプリケーションや新しいクラウドネイティブのイノベーションを実行するための鍵となるプラットフォームですが、その利点を最大限に発揮するためには、管理可能なディストリビューションとして提供される必要があります。

Red Hat Enterprise Linux は、IT プロフェッショナルがベアメタル、仮想、ハイブリッド、マルチクラウドの各環境、およびネットワークのエッジでワークロードを拡張および実行できるようにする人気のディストリビューションです。さらに、Red Hat Enterprise Linux のサブスクリプションには、デプロイを適切に管理できるよう、Red Hat の専門知識をクラウドサービスとして提供する機能が含まれているため、複雑性を軽減できます。

その中の Red Hat Insights は、Red Hat Enterprise Linux システムを継続的に分析するホステッドサービス・スイートです。潜在的な問題を特定して修復を効率化することで、リスクを最小限に抑え、セキュリティ重視、高パフォーマンスかつコンプライアンスに準拠したシステムを維持します。

Insights は、予測分析と詳細なドメイン知識を使用して、セキュリティ、コンプライアンス、パフォーマンス、可用性、安定性のリスクを分析し、どの Red Hat アドバイザリーがお客様の実装に適用されるかを判断します。また、SAP や Microsoft SQL Server のワークロードを実行している Red Hat Enterprise Linux システムを分析し、内部ポリシーの整合性を監視し、システムをベースラインや他のシステムと比較して、複雑さを軽減することもできます。

これまで、Red Hat Insights は修復ガイダンスを提供するだけでした。しかし機能が更新されたことで、Insights コンソールから直接起動できる Playbook を使用して、特定された脅威を大規模に解決できるようになりました。大企業や接続の少ない企業は、Red Hat Satellite を使用して Insights の修復機能を拡張および強化することができます。

## 運用の信頼性を向上

重要な目標の 1 つは、アプリケーションを円滑に実行し続けることです。なぜなら、ダウンタイムは収益の逸失や生産性の低下という形でビジネスに多大な損失をもたらすからです。通常、運用の停止を始めとするさまざまな問題は、細かな要素が組み合わさって引き起こされ、それらの要素の特定は簡単ではありません。分析機能を備えた先進的なツールを使用すると、管理者はいつ、どこに注意を払うべきかが分かるため、ダウンタイムの削減に役立ちます。

たとえば、特定の構成設定が原因で問題が発生しており、この事象にはさらに、特定のワークロードを実行する特定のオペレーティングシステム (OS) も関係しているとします。1人の管理者が広範囲に責任を負っている場合、詳細すべてを把握するにはどうしても時間が足りません。このような場合に役立つのが Insights であり、潜在的な問題と環境への影響を特定し、解決方法に関する手順付きのガイダンスを提供します。これには多くの場合、自動化された修復 Playbook が含まれます。このような情報があれば、リスクの早期解決に役立ちます。この1つのシナリオを、大規模な管理対象全体を考慮して倍化すれば、Insights と Red Hat Enterprise Linux によってもたらされる運用効率のメリットは明らかです。

運用効率は他にも、オンプレミスからクラウド・インフラストラクチャまで、多数のさまざまな運用環境を単純化することで向上させられます。

Insights にホステッドサービスとして含まれている Red Hat Enterprise Linux イメージビルダーツールを使用することも可能です。イメージビルダーにより、標準的な OS テンプレートを自動的に作成して起動することができます。このテンプレートは、市場のすべての主要なクラウドプロバイダーと仮想化テクノロジーに対応しているため、IT 環境全体で一貫性を保つことができます。

Insights はまた、サービスのトラブルシューティングを支援し、システム構成がベースラインイメージから逸脱した場合や、Red Hat によってパッチを適用できる可能性のある場所をチームがプロアクティブに理解できるようにします。

### セキュリティとコンプライアンスの可視性の向上

セキュリティとコンプライアンスの潜在的なリスクを可視化することは極めて重要です。Insights はセキュリティ上の問題を前もって検知するのに役立つので、最もリスクの高い環境を識別する業界知識と Red Hat の製品を使用して、セキュリティチェックの評価と優先順位付けを行うことが可能になります。加えて、Insights は OpenSCAP ポリシーに基づいてインフラストラクチャのコンプライアンスをプロアクティブに評価します。そのためコンプライアンス上のあらゆるリスクを特定し、Insights コンソールから直接起動できる Playbook を使用して修正できます。

これらのサービスは、Red Hat Enterprise Linux に内蔵されている広範なセキュリティ機能を補完するものであり、お客様はセキュリティを重視し、コンプライアンス要件と内部ポリシーに適合するための豊富な機能を利用できます。

### スキルとリソースの最適化

Linux は成長を続けているため、高度な Linux スキルを備えた人材の需要が高まっています。そのため、優れた Linux リソースを見つけて採用することは難しくなっています。また、多くの組織では、スキルの低い人材を使用したり、低コストのアウトソーシングプログラムを導入したりすることにより、限られたリソースで多くを行うことが求められるようになっています。この傾向により、管理すべきものは多く、しかも Linux スキルは不十分な状態になっています。






Insights は、潜在的なリスクを特定し、修復策を提供する能力で既存のチームをサポートすることで、このスキルギャップを埋めるのに役立ちます。修復ガイダンスでは、問題を手動で解決する方法が説明されています。また、ほとんどの問題に対して、Insights はコンソールから直接、または [Red Hat Ansible® Automation Platform](#) または [Red Hat Satellite](#) を介して起動できる修正 Playbook を提供します。これにより、チームの手作業による修復作業が大幅に削減されます。

### イノベーションへの注力を支援

IT イノベーションによってビジネスとデジタル・トランスフォーメーションが促進されます。新しいアプリケーションをプロダクション環境に向けて準備するにあたり、運用チームはアプリケーションの安定性やセキュリティが万全であり、対象となるオンプレミスまたはクラウド・プラットフォームでテスト済みであることを確認する必要があります。

運用チームが予期しない問題への対処に追われるのが常態になっている場合、開発環境からプロダクション環境への移行で極めて重要なこれらの手順を行うのに必要な時間も余裕もありません。Insights のプロアクティブな機能は機能停止やダウンタイムを回避するのに役立つので、チームは状況への対応に追われる文化から、十分に考慮を重ねたイノベーションの文化へと変革することができます。この新たな環境では、重要な新しいアプリケーションを完成させる手順に必要な時間を取ることができます。

表 1. Red Hat Insights のメリット

	メリット	詳細
	ダウンタイムの回避	Red Hat の広範な知識に基づくプロアクティブな IT モニタリングと分析によって、大きな損害をもたらすダウンタイムにつながる前にセキュリティ上のリスクや構成エラーに対処できます。
	自信を持って運用	セキュリティを保護し、コンプライアンスを改善し、適切な問題に注力できるようにするのに役立つプラットフォームや管理ツールを使用できます。
	スキルとリソースの最適化	修復ガイダンスと自動化された修復 Playbook を使用して、あらゆる規模のチームが Red Hat Enterprise Linux の実装の管理を改善する支援をします。
	イノベーションへの注力	修復ガイダンスを使用してスキルを深め、問題を解決できるため、あらゆるサイズのチームが Red Hat Enterprise Linux の実装を適切に管理できるようになります。
	複雑性をコントロール	分析機能を使用してシステム間の違いを把握し、イメージビルダーを使用して標準的な OS テンプレートを自動的に起動することで、より少ない構成で運用できます。

### Red Hat Insights を今すぐ始める

Insights をデプロイすることで、IT ライフサイクル全体を管理および自動化するのに役立つ追加の管理ソリューションにより、より自信を持って効率的かつ生産的に運用することができます。

Insights を使い始めるのは簡単です。管理者はクライアントを登録して、クラウドベースのビジュアル・ダッシュボードで問題を確認します。問題が見つかったら、提供されるガイダンスと自動化された Playbook を使用して修正します。

Insights の機能についての詳細は[こちら](#)を、Red Hat Enterprise Linux サブスクリプションを通じて Insights を使い始める方法については[こちら](#)をご覧ください。



#### Red Hat について

Red Hat は、[受賞歴のある](#)サポート、トレーニング、コンサルティングサービスをお客様に提供し、複数の環境にわたる標準化、クラウドネイティブ・アプリケーションの開発、複雑な環境の統合、自動化、セキュリティ保護、運用管理を支援します。

<b>アジア太平洋</b> +65 6490 4200 apac@redhat.com	<b>インドネシア</b> 001 803 440 224	<b>マレーシア</b> 1800 812 678	<b>中国</b> 800 810 2100
<b>オーストラリア</b> 1800 733 428	<b>日本</b> 03 4590 7472	<b>ニュージーランド</b> 0800 450 503	<b>香港</b> 800 901 222
<b>インド</b> +91 22 3987 8888	<b>韓国</b> 080 708 0880	<b>シンガポール</b> 800 448 1430	<b>台湾</b> 0800 666 052

 fb.com/RedHatJapan  
 twitter.com/RedHatJapan  
 linkedin.com/company/red-hat